

大規模災害への備え

災害時であろうと平時であろうと
援助者の構えとしては変りない。
最も重要なのは、当事者である
認知症高齢者本人の意向と都
合である。

認知症高齢者の場合

「あの人は認知症だから」といって距離を置いたりせず、徹頭徹尾付き合うこと。 **かかわり**を持たなければ何も始まらない。 とことん認知症者の人格を尊重するのが真の接近であろう。

援助者の資質

およそ、人間関係の仕事につくもの特にグループホーム(GH)のしごとに当たるものにとって、最も重要な要件は、円満な人格と平静な心の構え、そして**バランス感覚**といったものであろう。これは**先入観**を持たないということでもあろう。

援助論-1

バランス感覚とは

「冷静な頭脳と温かい心 (Cool head and warm heart)」

アルフレッド・マーシャル

横須賀基督教社会館前館長 阿部志郎氏の紹介

援助論-2

マーシャルは世界最初のセツルメントであるロンドンの「トインビーホール」創設の契機を作った経済学者アーノルド・トインビー(1852-1883)の後継者

援助論-3

マーシャルは「社会の問題に対して、学生はすべからく暖かい心情と冷静な頭脳を持たなければならない。そういう人物を送り出して、社会問題を解決することこそケンブリッジ大学の使命である」と学生に言い聞かせたという。

地域に生きるグループホーム

- 1 トポスの思想の導入 ギリシャ語で人の集まる場, 人の生きる場のこと
- 2 従来, 福祉援助で「場」とは機関・施設等の相談室であった
- 3 地域を見る視点が大事
- 4 地域の人との交流を活性化する

GHはトポスたり得るか

病院・施設等の相談室は密室。職員の発言をチェックできない。責任逃れが出来る。相談室がトポスになっていないからである。トポスは利用者も介護職員も、地域に生き共に働くことができる拠点である。GHは格好のトポスではなからうか。

私のトポス（東京都杉並区成田東）



臨床の場 vs トポス

臨床はクリニカル, クリネー, 寝台や担架のこと. クリネーに臨むとは, 寝ている人を診ること. 医学モデルの用語で病者や弱者を対象とする. 認知症高齢者は普通の生活を営もうとする人, 職員は認知症のある人を弱者として対象化する専門職ではない.

GHにおける協働

協働はソーシャルワークに特有の用語。
「クライアント自己決定の原則」が至高の
価値。協働という形の「かかわり」なしに
ソーシャルワークは成り立たない。
GH職員もほぼ同様で、利用者と協働する
が、単に世話をしてあげるものではない。

対象化について

- ・臨床家の普通の手法
- ・相手を客観的な観察の対象にする
- ・治療者の枠組みで考察する
- ・かかわりを最も重視するわけではない
- ・相手との“語り”を重視することはない
- ・一方的な質問に終始
- ・ソーシャルワーカーは対象化しない
- ・GH職員はどうだろうか

まとめ

3.11, 日本人が示した忍耐力と克己心と強靭さ, 2011/9/5, 読売新聞, リチャード・アーミテージ, 元米国務副長官寄稿

「我慢」「諦観」「思いやり」という美德
今回の8/25視察, 聞き取りで感じたこと.

大声を出すことについて